

# 住民の「はかる」からはじめる、 持続可能な健康まちづくり

誰一人取り残さない  
健康事業における、医療費適正化と参加率向上の秘策

日時	① 2026年5月25日(月) 14:00~14:40 ② 2026年5月27日(水) 14:00~14:40 ③ 2026年5月29日(金) 14:00~14:40
※3日程とも 同内容を配信 いたします	
会場	オンライン (Zoomウェビナー)
対象	自治体職員の方
費用	無料 (事前申込制)
申込方法	右記のQRコード、またはURLからお申し込みください。 <a href="https://forms.gle/kBtcpTrYw9ew3TwDA">https://forms.gle/kBtcpTrYw9ew3TwDA</a>



登壇者 塚本珠代  
株式会社タニタヘルスリンク  
営業統括部 自治体担当  
管理栄養士  
ESGアドバイザー



「デジタル化を進めたいが、誰でも参加しやすい事業とは？」  
「健康事業には関心層しか参加しない」「事業の成果を客観的な数値で示せていない」

こんな課題を抱えていませんか？ 本ウェビナーでは、表面的な取り組みに終わらせず、  
「データをもとに確かな成果を生む健康事業」をご提案します。  
タニタグループで成果が確認された『「はかる」からはじめる健康づくり』の  
実践ノウハウをベースにした住民の行動変容を促す仕組みから、  
「誰一人取り残さない」デジタルデバйд対策等、他自治体の事例を交えてご紹介します。



## ウェビナーの主な内容 (プログラム)

### 1. 健康増進事業のデジタル化とデータ活用

- 表面的な取り組みに終わらせない、PHR (パーソナル・ヘルス・レコード) の利活用と分析
- デジタルデバйдの解消

### 2. 住民参加率を向上させる「無関心層」へのアプローチ

- 「はかる」→「わかる」→「きづく」→「かわる」の健康づくりPDCA
- 「健康に関心がない層」が思わず参加したくなるインセンティブ設計

### 3. 【事例公開】成功自治体に見る、持続可能な運用の裏側

- スマホに不慣れな高齢者から現役世代まで、誰一人取り残さない仕組み
- 医療費適正化のエビデンスに基づいた事業構築

